



県主神社（西町）

「カモ」のはなし②

「カモ」の地名は、この地域がカモ県主の本拠地であつたこと^{あがためし}からついたといわれています。西町にある県主神社はカモ県主が自分たちの祖神^{そじん}を祭った所といわれ、ここを中心にカモ地域を治めたと考えられています。

「カモ」の由来については諸説ありますが、そのひとつに、カモ県主が京都の賀茂神社で代々宮司^{くわじ}を務める県主一族と同族であつて、地名も京都の賀茂からきたという説があります。そのほか、山城（京都）や大和（奈良）などほかの場所に「カモ」の本拠地を求め、そこから「カモ」の地名がもたらされたという説もあります。

※県主…朝廷からその地域の支配を任された豪族に与えられた地位

◆主な参考文献

『美濃加茂市史 通史編』

『ミノ』『カモ』の古代—御野国戸籍から—三〇〇年—』